

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問合せください。

研究課題名	肺癌手術におけるNo-touch isolation techniqueとしての部分切除先行肺葉切除法の多施設共同後ろ向き観察研究 (ILO2206/YCTS2201)
該当者	2017年1月から2018年12月に山形県立中央病院で臨床病期IA～IB期の原発性肺癌に対して肺葉切除以上の手術を受けた方。
当院の研究責任者	呼吸器外科 遠藤 誠
研究代表者	神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 足立 広幸
本研究の目的	肺癌の診断・治療の過程では生検や術中圧迫で肺癌組織へ物理的な負荷が生じてしまい、その結果、転移を誘発している可能性が危惧されています。これを回避するためNo-touch isolation technique(以下NTIT)という理論が提案されており肺癌におけるNTITの一つとして、術中に根治切除である肺葉切除に先んじて原発巣のみを部分切除で摘出してしまいう手法(部分切除先行肺葉切除法)が提唱されていますがその有用性はまだ確立していません。この方法は新たな薬剤や器具の開発、追加の手術手技などを要せずに比較的簡便に施行できる方法でありこの方法で再発が抑制できれば非常に有用な手段となります。本研究では本方法で術後転移・再発を抑制できるか、後ろ向き観察研究で探索します。
実施予定期間	2022年4月～2024年3月
研究の方法	2017年1月から2018年12月に山形県立中央病院で臨床病期IA～IB期の原発性肺癌に対し肺葉切除以上の完全切除手術を受けた患者さんを臨床データを電子カルテから収集します。研究責任者および研究分担医師等が、研究実施計画書の規定に従いエクセル表に臨床データを入力し、パスワードを設定したセキュリティー対策を行ったCD-ROMに保存し研究代表者に郵送します。情報は本研究の共同研究医療機関と共有します。収集した情報は、匿名化し、神奈川県立がんセンター呼吸器外科に集約し、外部から容易にアクセスできない状態で保管します。研究成果を学会や学術雑誌で公開する場合がありますが個人が特定できない状態で行います。
研究に用いる試料・情報の種類	臨床情報(被験者背景、術前病変状況、手術状況、術後経過、病理組織学的所見、予後)のデータ等
外部への試料・情報の提供・公表	研究代表者に提供します。提供の際は、匿名化を行いますので、個人が特定されることはありません。また、送付された臨床情報は研究実施計画書の規定に従い適切に管理します。

個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。この研究について、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	呼吸器外科 遠藤 誠 023-685-2626